

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 イーシーワン  
 コード番号 2310 URL <http://www.ec-one.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 最首 英裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 村永 美  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 03-5614-7020

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	490	—	△52	—	△56	—	△99	—
20年3月期第1四半期	242	△54.4	△109	—	△91	—	2	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△2,460.00	—
20年3月期第1四半期	50.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	4,497	3,381	74.9	84,391.88
20年3月期	4,489	3,527	78.3	86,802.06

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,367百万円 20年3月期 3,513百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1,000.00	1,000.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,100	—	△50	—	△100	—	△80	—	△1,992.43
通期	3,900	35.9	250	481.4	180	181.3	200	233.3	4,995.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
  - 会計基準等の改正に伴う変更 有
  - ①以外の変更 無
- 発行済株式数(普通株式)
 

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	40,479株	20年3月期	40,479株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	572株	20年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	40,336株	20年3月期第1四半期	40,479株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 平成20年6月12日開催の当社取締役会において、自己株式の取得について決議したため、「3. 平成21年3月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益の算出については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日）におけるわが国経済は、米国経済の減速や株式・為替相場の変動、原油価格の高騰などにより、企業の収益環境が厳しさを増すとともに、設備投資や個人消費の伸びが鈍化するなど、景気に減速感が見られました。一方、情報サービス産業におきましては、こうした景気動向を背景に、企業において情報システム投資に一部慎重な姿勢が見られるものの、総じて需要は堅調に推移しました。

このような経営環境のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第1四半期の売上高は、主力事業であるプロフェッショナル・サービスが伸張し、490,709千円（前年同期比102.4%増）と増収を確保することができました。

利益面では、売上拡大及びプロジェクト・マネジメントの強化などによる利益改善に加え、販売費及び一般管理費の削減等が営業利益に寄与し、営業利益はマイナス52,575千円（前年同期実績：マイナス109,796千円）、経常利益はマイナス56,502千円（前年同期実績：マイナス91,581千円）と前年同期比で赤字先行額が縮小しました。また、当第1四半期は前年同期ほどの特別利益が発生しなかったなか、投資有価証券評価損81,947千円が発生したため、当期純利益はマイナス99,226千円（前年同期実績：プラス2,043千円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、情報サービス業界の事業形態の特徴として、9月及び3月に集中する傾向があり、第2四半期及び第4四半期に計上される割合が高いため、連結会計年度における、第1四半期及び第3四半期と第2四半期及び第4四半期の業績との間に著しい差異があります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8,185千円増加し4,497,432千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加484,868千円及び仕掛品の増加238,437千円が、売掛金の減少602,304千円、投資有価証券の減少89,500千円を上回ったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて154,182千円増加し1,116,366千円となりました。これは主に、前受金の増加523,565千円が、買掛金の減少85,570千円及び未払法人税等の減少193,952千円を上回ったことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて145,996千円減少し3,381,066千円となりました。これは主に、四半期純損失による減少99,226千円、配当の支払いによる減少40,479千円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の78.3%から、74.9%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より485,570千円増加し、1,986,513千円となりました。当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、483,713千円（前年同期実績：収入31,711千円）となりました。これは主に、売上債権の減少及び前受金の増加による収入がたな卸資産の増加及び法人税等の支払いによる支出を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、51,730千円（前年同期実績：収入341,368千円）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、49,873千円（前年同期実績：支出31,823千円）となりました。これは主に、配当金の支払い及び自己株式の取得によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね予定通り推移しておりますが、第2四半期連結累計期間につきましては、第1四半期における投資有価証券に係る特別損益の発生状況を踏まえ、連結業績予想を修正することといたしました。

なお、通期につきましては、連結業績予想の変更はありません。

詳細については、本日開示の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理の適用及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更による損益への影響はありません。

③ 所有権移転外ファイナンスリース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計基準に係る会計処理によっております。この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,183,312	698,444
売掛金	294,410	896,714
有価証券	803,200	802,497
仕掛品	939,453	701,016
繰延税金資産	170,767	184,026
その他	37,485	59,205
貸倒引当金	△329	△922
流動資産合計	3,428,300	3,340,983
固定資産		
有形固定資産	32,744	34,709
無形固定資産	47,776	51,571
投資その他の資産		
投資有価証券	693,980	783,480
その他	295,259	279,131
貸倒引当金	△630	△630
投資その他の資産合計	988,610	1,061,981
固定資産合計	1,069,131	1,148,263
資産合計	4,497,432	4,489,247
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,112	223,682
1年内返済予定の長期借入金	6,600	6,600
未払法人税等	4,854	198,806
前受金	780,797	257,232
賞与引当金	42,335	88,856
製品保証引当金	29,000	90,000
その他	106,765	87,456
流動負債合計	1,108,466	952,634
固定負債		
長期借入金	7,900	9,550
固定負債合計	7,900	9,550
負債合計	1,116,366	962,184

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641,158	1,641,158
資本剰余金	1,701,531	1,701,531
利益剰余金	84,186	223,892
自己株式	△22,022	—
株主資本合計	3,404,854	3,566,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,603	△51,430
為替換算調整勘定	△6,424	△1,490
評価・換算差額等合計	△37,027	△52,921
少数株主持分	13,239	13,402
純資産合計	3,381,066	3,527,062
負債純資産合計	4,497,432	4,489,247

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	490,709
売上原価	369,820
売上総利益	120,888
販売費及び一般管理費	173,464
営業損失(△)	△52,575
営業外収益	
受取利息	181
有価証券利息	987
受取配当金	1,394
その他	1,047
営業外収益合計	3,610
営業外費用	
支払利息	84
為替差損	13
持分法による投資損失	7,363
その他	75
営業外費用合計	7,537
経常損失(△)	△56,502
特別利益	
投資有価証券売却益	51,148
持分変動利益	2,926
特別利益合計	54,075
特別損失	
投資有価証券評価損	81,947
固定資産除却損	1,066
特別損失合計	83,013
税金等調整前四半期純損失(△)	△85,441
法人税、住民税及び事業税	953
法人税等調整額	12,994
法人税等合計	13,947
少数株主損失(△)	△162
四半期純損失(△)	△99,226

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△85,441
減価償却費	6,156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△593
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,521
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△61,000
受取利息及び受取配当金	△2,563
支払利息	84
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51,148
投資有価証券評価損益 (△は益)	81,947
持分法による投資損益 (△は益)	7,363
固定資産除却損	1,066
売上債権の増減額 (△は増加)	602,303
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△238,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85,569
未払金の増減額 (△は減少)	△6,154
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,250
前受金の増減額 (△は減少)	523,565
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,814
その他	29,746
小計	662,740
利息及び配当金の受取額	1,464
利息の支払額	△82
法人税等の支払額	△180,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,595
無形固定資産の取得による支出	△230
投資有価証券の売却及び償還による収入	69,471
敷金の差入による支出	△15,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△1,650
自己株式の取得による支出	△22,022
配当金の支払額	△26,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	485,570
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,986,513

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年6月12日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議し、平成20年6月13日に当社普通株式572株を取得しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が22,022千円となっております。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	242,500
II 売上原価	141,562
売上総利益	100,938
III 販売費及び一般管理費	210,734
営業損失(△)	△109,796
IV 営業外収益	21,075
V 営業外費用	2,860
経常損失(△)	△91,581
VI 特別利益	113,636
税金等調整前四半期純利益	22,055
税金費用	19,290
少数株主利益	720
四半期純利益	2,043

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	22,055
減価償却費	4,914
売上債権の減少	507,801
たな卸資産の増加額	△371,358
仕入債務の減少額	△10,940
その他	△147,987
小計	4,484
利息及び配当金の受取額	33,875
利息の支払額	△893
法人税等の支払額	△5,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,711
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,258
投資有価証券の売却及び償還による収入	346,636
その他	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	341,368
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△16,600
配当金の支払額	△15,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,823
IV 現金及び現金同等物の増加額	341,256
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,582,873
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,924,129

## 6. その他の情報

### 生産、受注及び販売の情報

#### (1) 生産実績

当社グループでは、生産実績を定義することが困難なため、「生産実績」は記載を省略しております。

#### (2) 受注状況

事業の種類別セグメントを記載していないため、当第1四半期連結会計期間の受注状況をサービスの種類別に表示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

サービス種類別の名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		前第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
プロフェッショナル・サービス	574,194	1,692,914	733,089	1,182,930
プロダクト・サービス				
自社製品販売	47,336	28,827	46,850	31,408
他社製品販売	196,474	279,970	27,730	75,609
その他	16,012	—	3,700	—
合計	834,018	2,001,711	811,370	1,289,948

(注) 1. 保守等の継続契約については1年以内に売上が計上されることが確実な受注のみを受注残高としております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

事業の種類別セグメントを記載していないため、当第1四半期連結会計期間の販売実績をサービスの種類別に表示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

サービス種類別の名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	前第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
プロフェッショナル・サービス	370,738	165,027
プロダクト・サービス		
自社製品販売	48,065	49,478
他社製品販売	55,891	24,295
その他	16,012	3,700
合計	490,709	242,500

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。